

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社 steAm

【ツール名】

教育版レゴ®マインドストーム®EV3
Playful Robotics

【ツールの機能分類】

学習支援コンテンツ
(プログラミング学習ツール)

2022年2月



ツール 1 : 教育版レゴ®マインドストーム®EV3

●教育版レゴ®マインドストーム®EV3とは

「教育版レゴ®マインドストーム®EV3」はレゴエデュケーションが提供する教育用ロボットキット。

センサーやモーターを活用したロボットの製作、温度や距離などをセンサーを使って計測する科学実験などに利用できる。

また、直感的なビジュアルのアイコン型プログラミングにより、プログラミング初心者であっても簡単に学べ、理解することができるため、小学生～高校生、大学生と幅広い層に対してそれぞれの発展度合いに応じた学習を行うことができる。



●ツール情報

開発メーカー：レゴ エデュケーション

ツール 2 : Playful Robotics

●Playful Roboticsとは

ロボット（EV3）を活用した、オンラインを中心とするプログラミング学習。数学、物理、情報、探究などの科目で学ぶ概念を、ロボットを使いながら実践的に理解する。教材を使ったEV3の基礎学習からスタートし、仕様書の作成やプロトタイプの開発を専門家のオンライン指導を受けながら実践的に学ぶプログラム。

●活用場面とツール活用による効果

活用場面

主に探究の授業において、学校の特色や地域の課題、専門性に応じて、テーマ（課題）を設定。EV3の基礎学習と併せて、課題解決のためのプログラミングを、仕様書や設計書を通して学ぶ。進捗に応じてプロトタイプの作成にも取り組み、必要に応じて教員メンタリングや個別サポートなどを行う。

ツール活用による効果

学習環境等に関連する効果	- 一人一人の特性や進度に応じた学びを提供できる - 包摂的かつ公平で質の高い学びを提供できる
学力・資質等に関連する効果	- 知識・技能の向上 - 思考力・判断力・表現力の向上 - 主体性・多様性・協調性の向上 - 非認知能力の育成（集中力・自立心・達成感を得られる） - 非認知能力の育成（自分で考え行動する、創造的な人材育成） - 非認知能力の育成（学びに向かう意欲を高め、自学を習慣化）
業務効率・利便性等に関連する効果	- 教職員の業務の効率化等による負荷軽減の実現 - 指導の効率化 - 教職員補助及び、児童・生徒への指導方法・授業内容を改善 - 教員同士／保護者間のコミュニケーションの活性化

■ 学校等教育機関の抱える課題

学校等教育機関の抱える課題



◆探求型の学びを積極的に取り入れていきたいが、プログラム内容の組み立てや、外部講師等の サポート、予算面での補助がなければ十分な活動ができない



◆教育委員会全体として取り組む必要がある
現場の教員だけでは、広がりや深化させることに限界がある



◆実社会との接続や希望する分野での専門家の招聘など、教員だけでは
ネットワークに限界があり、全体をコーディネートする外部人材が必要



◆他校との繋がりや、活動を発表する場があれば、生徒の活動意欲も高まる

北海道旭川農業高等学校

● 取り組みテーマ／概要

スマートー輪車で高齢農家を救え！～簡単便利！次世代型農機具の開発！～

学校概要

北海道旭川市にある公立の農業高等学校である。農業化学科、食品科学科、森林科学科、生活科学科を設置している。旭川農業高校の小林教諭が高校2・3年生の各授業で実施している。



取り組みの背景・概要

北海道の将来を考えたとき、基幹産業である農業は高齢化が進んでおり、重労働が多いことも負担になると心配している。高齢者が農業を続けることができ、また若者が魅力を感じる職業にするため、農業者の負担を軽減するための農機具の開発に挑戦。EV3を活用したプロトタイプを作成や、他校との連携も行った。

● 具体的な取り組み内容

① テーマ（課題）の設定と現状分析

② 仕様書・設計書の作成書を通じ、モデルマシンの検討

③ プロトタイプ制作と検証（定性・定量的評価）

④ 実用化に向けて他校と連携した改良（農業×工業）



北海道倶知安農業高等学校

●取り組みテーマ／概要

農作業に関する機械の開発（例：田植え・運搬機・牛監視システム）

学校概要

北海道虻田郡倶知安町にある公立（道立）の農業高等学校である。生産科学科が設置されており、2年次から生産加工コース・生活園芸コースに分かれる。倶知安農業高校に所属する杉本教諭が2年生の選択授業の中で教えている。



取り組みの背景・概要

農作業において、地味で重労働な除草作業を自動化や無人化することで、作業負担や農薬の低減。ひいては土壌の酸素供給による改善ができないかということでプロジェクトスタート。EV3でのプロトタイプ作成などを通して、実践的な取り組みを実施。

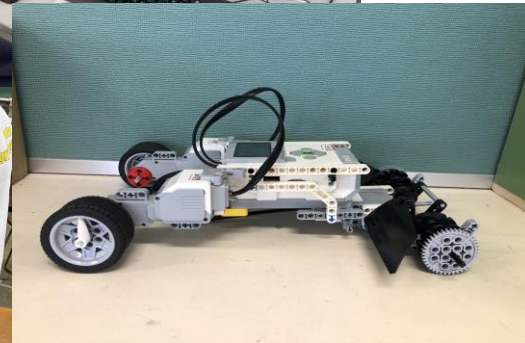
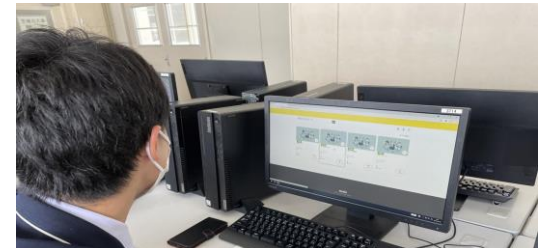
●具体的な取り組み内容

①テーマ（課題）の設定と現状分析

②参考機器の調査、設計書作成

③プロトタイプの作成

④実用化に向けて専門家との意見交換



大崎市立鬼首小学校

● 取り組みテーマ／概要

離れていても気持ちは繋がる。非接触でも想いは届く。

学校概要

宮城県大崎市鳴子温泉鬼首にある市立の小学校である。鬼首小学校は、複式学級・少人数の利点を生かして、ICTを活用した授業を積極的に行っている。鬼首小学校の稲垣教諭が生徒13名に対して授業を行っている。



取り組みの背景・概要

コロナ禍の学校生活を送る中で、対面での活動や友達との自由な時間が制限されてしまった。そんな時だからこそ、学びを通して解決できる課題があるのではないかと考え、非接触で消毒液を隣の教室まで届けることに挑戦。EV3を使ったライトレースなどを駆使して取り組んだ。

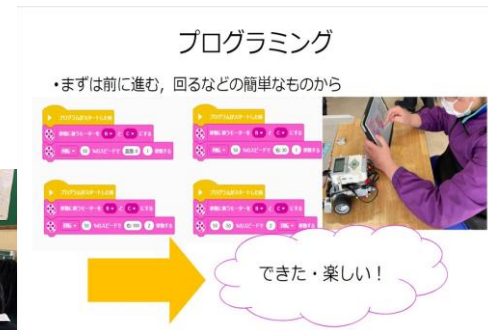
● 具体的な取り組み内容

①EV3の基本学習(e-Learning)

②テーマ（課題）の設定

②仕様書・設計書の作成とプロトタイプの検討

例) センサー機能によりライトレースに挑戦



女川町立女川小学校

● 取り組みテーマ／概要

EV3レゴマインドストームを使ったPlayful Roboticsプログラム

学校概要

宮城県牡鹿郡女川町にある公立小学校で、2021年度より施設一体型の小中一貫教育学校として本格始動。



取り組みの背景・概要

e-learningによるプログラミング学習を実施。コロナ感染拡大の影響で学習機会が制限されたものの基礎学習を中心に取り組みを実施。総合学習で取り組んでいる「町づくり」プログラムで導入できないか検討を行った。

①EV3の基本学習(e-Learning)

②テーマ（課題）の設定

③専門講師からのオンライン授業

④まとめ・発表会（今年度はコロナのため無）



奈良県立王寺工業高等学校

● 取り組みテーマ／概要

心と身体を守るペットロボットの提案！

学校概要

東京都北区滝野川に所在した都立工業高等学校である。工業科の中で機械工学科、電気工学科、情報電子工学科を設置している。
王子工業高校の黒松先生が高校3年生の課題研究の授業で実施している。



取り組みの背景・概要

プログラミングの基礎知識を習得しつつ、グループワークを通じ、課題やテーマを設定。プロトタイプを作成と改良を繰り返し、学習を継続。地域企業との連携や身近な生活課題を取り上げ、ロボットの開発等に取り組んだ。発表会や他校との交流に積極的に参加し、教育の効果を高めた。

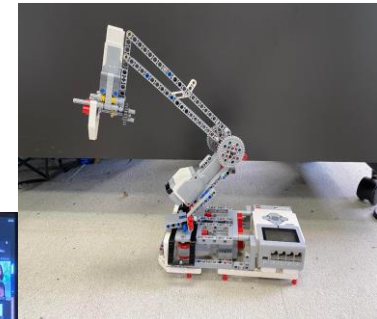
● 具体的な取り組み内容

①テーマ（課題）の設定と現状分析

②地域企業とコラボした課題解決

③仕様書・設計書の作成を通じたモデルマシンの検討

④他校との交流活動（工業×農業）



奈良県立吉野高等学校

●取り組みテーマ／概要

害獣による食害防御ロボット

学校概要

奈良県吉野郡吉野町に所在する県立の高等学校である。農業科の森林科学科、工業科の建築工業科、土木工業科の3つの専門科が設置されている。吉野高校の久見教諭が3年生の課題研究という授業の中で実施している。



取り組みの背景・概要

演習林実習を行う中で、鳥獣による食害を深刻に感じ、鳥獣の生態を調査し、田畑や農作物を食害から守るための解決策を検討。山間部でも自在に動ける機能、センサーによる監視機能、自動音声による鳥獣への威嚇機能などを考え、EV3を使ったプロトタイプの作成まで取り組んだ。

●具体的な取り組み内容

①EV3の基本学習(e-Learning)

②林業科での活動と連動した課題設定

③解決策及びロボットの仕様・設計を検討

④プロトタイプの作成、他校との情報交換



製作したEV3の紹介



名前：友愛の戦士猪鹿アチョー

【基本性能】

- ・走行はキャタピラ
- ・カラーセンサー 2 個搭載
- ・害獣発見時警告音機能搭載

徳島県立徳島商業高等学校

● 取り組みテーマ／概要

EV3レゴマインドストームを使ったPlayful Roboticsプログラム

学校概要

徳島県徳島市城東町一丁目にある県立商業高等学校である。商業科、会計情報科、情報処理科を設置している。徳島県の商業教育の中心校として、SPHや「未来の教室」実証事業にも積極的に参画している。



取り組みの背景・概要

「**Playful Robotics**」の基礎プログラムを中心に学び、モーター、センサーなどのプログラミングに挑戦。ラインレースやロボット相撲などの基本プログラムを活用し、生徒のプログラミング学習への興味・関心を高めた。

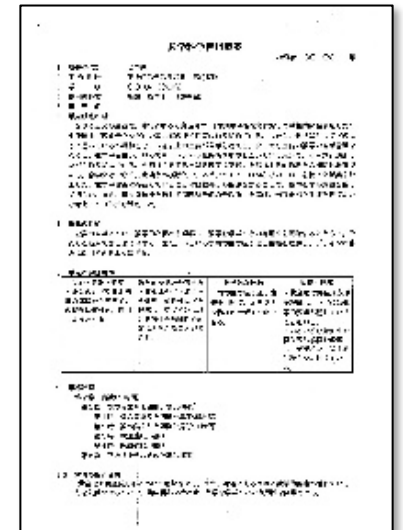
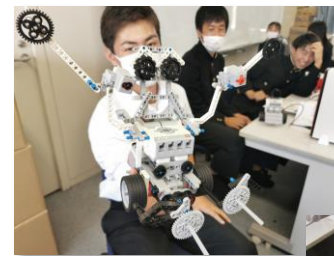
● 具体的な取り組み内容

①EV3の基本学習(e-Learning)

②昨年度の取り組みを参考にアイデア出し

③テーマ（課題）の設定

④仕様書・設計書の検討



大分県立大分舞鶴高等学校

● 取り組みテーマ／概要

レゴブロックを使った探究活動

学校概要

大分県大分市今津留一丁目にある公立高等学校である。普通科、理数科を設置している。
大分舞鶴高校の池先生が学校設定科目で生徒に実施している。



取り組みの背景・概要

レゴブロックを活用した基礎学習を実施。グループごとに分かれ、各班でテーマや課題を設定。そのうち一つの班では、リンク機構をテーマに探究。ビースト機構に発展させ、試作品を作り、試行錯誤を行った。

今後の活動に繋げるため今後の活動計画を立て、また全国から参加するオンライン発表会で活動を報告した。

● 具体的な取り組み内容

① E-learningによる基礎学習

② テーマ・課題の設定

③ 試行錯誤を繰り返す（知る・創るの循環）

④ 全国発表の場で取り組みを発表



沖縄県立北部農林高等学校

●取組みテーマ／概要

沖縄の特産物が口の中で広がる新食感スイーツ ～人口イクラ製造技術の活用～

学校概要

沖縄県名護市字宇茂佐にある県立農業高等学校。熱帯農業科、園芸工学科、林業緑地科、生活科学科、食品科学科が設置されている。
〇〇科の安座間教諭が高校1・3年生の各授業で本プログラムを実施している。



取組みの背景・概要

コロナの影響により、熱帯果樹の需要が激減し、農家への大打撃となっている状況を知る。北部農林高校のある地域は、県内有数の果樹の産地であり、新商品を開発して地域貢献をしたいと、生徒たちが活動開始。人口イクラの製造技術を活用した商品開発と製造マシンの開発に取り組んだ。

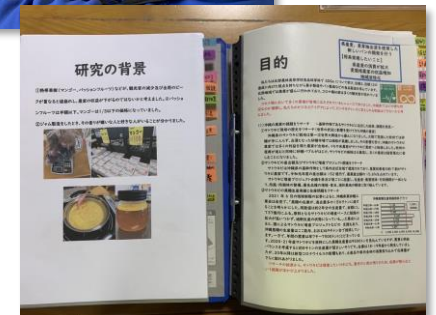
●具体的な取組み内容

①テーマ（課題）の設定と現状分析

②仮説を立て実験

②仮説の検証とプロトタイプの作成

④機能の検証と改良



沖縄県立沖縄水産高等学校

● 取り組みテーマ／概要

未来の海で活躍するマリンロボット！

学校概要

沖縄県糸満市西崎一丁目にある公立水産高等学校である。海洋技術科、海洋サイエンス科、総合学科を設置している。沖縄水産高校の石川先生が高校2・3年制の授業で実施している。

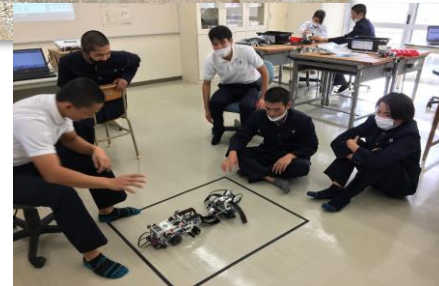


取り組みの背景・概要

EV3を使用した、プログラミングの基礎学習からスタートし、ミッションブックに沿った相撲ロボットの作製などを実施。その後、海洋学科らしい課題を設定し、マリンロボットの機能をあげるためプログラミングを活かした取り組みを展開。海洋産業が良くなるようなロボットの開発を目指す。

● 具体的な取り組み内容

- ① Elearningによる基礎学習、相撲ロボット
- ② 海をテーマにEV3を活用してできる事を検討
- ③ 水中ロボットを作成し、コンテストに出場
- ④ 新たにセンサーを使った魚群探知に挑戦



■ 補助事業において実施したサポート内容

EdTechツール活用のためのサポート

● 講師：吉原 淳之介氏

株式会社steAmで「Playful Robotics」担当の吉原 淳之介をメイン講師として各学校への研修やメンタリング、授業サポートを実施。

プログラムスタート時には、参加校全体に対する基礎研修を実施し、その後は各学校の進捗に応じて、器機の操作サポートや課題設定に対するアドバイス、仕様書・設計書の作成方法など一連の取り組みをサポート。

また、プロトタイプを作成や実機の製作などについても相談を受け、生徒に寄り添うサポートを実施。また、プログラムをより効果的なものにするため、実社会との接続や他校との意見交換交流などの企画・サポートも行う。



サポート体制について

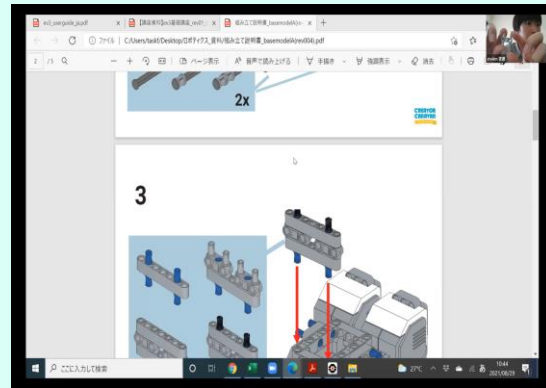
- メイン講師を中心として、株式会社steAm内のスタッフ3名程度でサポートを実施。
- 専門家スタッフと併せ、事務的な人員を配置（メール対応や学校からの相談受付等）
- 学校と事務局の間に講師との日程調整や問い合わせ内容の整理、データのやり取り等の業務をサポート

■ 補助事業において実施したサポート内容

サポートの様子（一部抜粋）

基礎研修（オンライン）

EV3の基礎説明、動作確認、組み立て方法の基本的内容の研修を実施。また、学校現場で事業運営について、仕様書や設計書の作成方法についても説明を受け、授業展開についてもサポートを実施する。



2021年8月29日・9月5日 参加校教員向け
EV3活用したプログラミング学習 基礎研修

個別サポート（オンライン）

現場の要望に応じて、授業の運営やプログラミング、EV3の技術的な面について専門的な知見からサポートを行う。

資料の確認やヒアリングを行い、現場の進捗に合わせた適切なアドバイスを行う。



2021年10月29日 ドルトン東京学園
教員への個別メンタリング

他校との交流サポート（オンライン）

株式会社steAmが持つ、全国・世界の教育ネットワークを活用し、互いの学校の特色を活かした連携・交流をサポート。

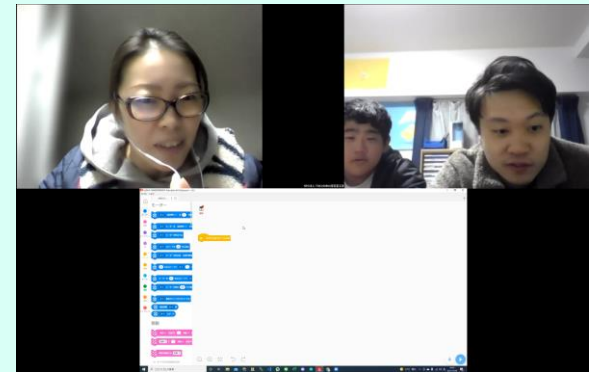
今年度は、農業高校の農機具開発を、工業高校がハードの改良部分においてアドバイスした。



2021年12月3日 旭川農業高校×王寺工業高校
両校の特色を生かしたコラボ探究

事務局サポート（オンライン）

専門家のみならず、事務局のサポート人員も含めて、学校からの困りごと（機器の操作方法が分からない・iPadでの使用方法・部品の破損）に対応。電話やオンラインにより個別にサポート。



2021年12月8日 鬼首小学校
機器の使用方法に関するサポート

導入教育機関一覧

北海道教育委員会

北海道旭川農業高等学校
(3年生76名)

北海道倶知安農業高等学校
(1年生19名、2年生22名、3年生21名)

奈良県教育委員会

奈良県立王寺工業高等学校
(3年生71名)

奈良県立吉野高等学校
(2年生16名、3年生15名)

女川町教育委員会

女川町立女川小学校
(5年生32名、6年生37名)

大崎市教育委員会

大崎市立鬼首小学校
(3年生3名、4年生3名、5年生3名、6年生3名)

徳島県教育委員会

徳島県立徳島商業高等学校
(2年生38名、3年生49名)

大分県教育委員会

大分県立大分舞鶴高等学校
(1年生320名)

沖縄県教育委員会

沖縄県立北部農林高等学校
(1年生40名、3年生4名)

沖縄県立沖縄水産高等学校
(1年生10名、2年生24名、3年生68名)

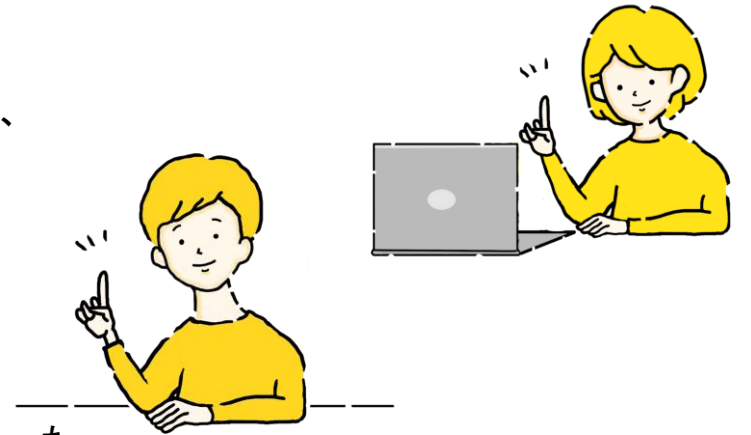
ドルトン東京学園

学校法人ドルトン東京学園 中等部・高等部
(1年生4名、2年生3名、3年生2名)

■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

教職員の問いの仕方や意識に及ぼした変化

- 生徒がどうしたら良いか迷っている際など、「自分自身で調べて検証してみよう」という発問が効果的だと感じるようになった。
教員は、多様な情報が溢れる現代において、生徒の情報の取捨選択をサポートする立場であることが必要である。
- 今までの授業に比べ、生徒に多く考えさせ、自ら試す（実践する）ことを意識させた。
- 実現したい物事に対し、様々なアプローチをし、試行錯誤して自分なりの正解を求めていく過程で、生徒との意見交流が生まれ、生徒と一緒に学習を進めることができた。



児童・生徒の学び方への意識に及ぼした変化

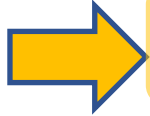
- 主体的に行動することが楽しいことであると気がつく生徒が約3割増加した。
クラスで、通常3－4割の生徒しか集中力が続かないところ6－7割の生徒の集中力が続き、効果があった。
(沖縄水産高校)
- 授業で習ったこと以外にも、センサーを組み合わせて使用したり、教わっていないプログラムに自分で気がついて活用したりと、主体的に取り組むという変化が見られた生徒が約8名。(主体的に次に何をすることを意識するようになった。)
(北部農林高校)
- 「教えてもらわないと分からない」という状態だったが、能動的に学習する生徒が約10名増加した。
(徳島商業高校)
- 自分たちが創造したい物（ゴール）に向かって、諦めずにアイデアを形にしようとする意欲が、参加した生徒全体で高まっていた。
- 生徒の中には家業について考えたりする者もあり、農業の問題や無人化の機会を調べることで見識の広がりが伺えた。



■ 学校等教育機関の課題に対する本事業での効果



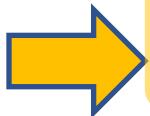
- ◆探求型の学びを積極的に取り入れていきたいが、プログラム内容の組み立てや、外部講師等のサポート、予算面での補助がなければ十分な活動ができない



EdTech補助金に活用により、今後、学校や教育委員会等が導入するきっかけとなった。専門的な分野においては、専門家の投入により学習者の効果的な学習に繋がったとともに、教員の負担軽減に繋がった。



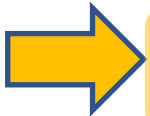
- ◆教育委員会全体として取り組む必要がある
現場の教員だけでは、広がりや深化させることに限界がある



今年度、連携いただいた教育委員会については、今年度の成果や課題を含め情報共有しながら、来年度以降の導入についても働きかけを行っていく。次年度のEdTech補助金2022も活用し、新規の教育委員会への導入も積極的に行う予定。



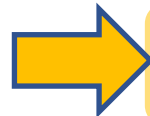
- ◆実社会との接続や希望する分野での専門家の招聘など、教員だけではネットワークに限界があり、全体をコーディネートする外部人材が必要



生徒の学習ニーズや興味・関心を最も尊重し、学習者にとって必要な専門家を適宜投入できた。steAmがもつ全国、世界のネットワークを活用し、学習者の学びの質を上げることができた。



- ◆他校との繋がりや、活動を発表する場があれば、生徒の活動意欲も高まる



各学校単独での取り組みも素晴らしい内容であったが、steAmが提供するプログラムでは、他校（共通の専門や互いの分野を補完し合うような連携）との繋がりや、全国規模での発表会などを実施し、刺激を受けながら取り組むことができた。

■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

「Playful Robotics」によって、解決／改善できそうな社会課題はどんな事でしたか

農業機械や道具の自動化による農作業負担の軽減、農業の労働力不足問題への貢献

子供の自主性

海に漂う軽石の除去

漁業の効率化

釣りの補助（撒き餌）

重労働の置き換え

授業等で開発した商品の製造を機械化することで大量製造

林業の高齢化による作業の改善

次年度以降の取組の継続について

ぜひ継続したい！
他校との関わりも増やしたい！

次年度も継続したい！
専門的な知識・技術の
サポートは行ってほしい！

予算の捻出が難しい...
教材の貸し出しの価格がもう少し安くなれば継続できる。

4月頭の段階で実施決定になれば、年間計画や授業計画が楽に行えた。



■ EdTechツールを活用した教員のコメント感想等

今回の学習を通じて、得られたことや、生徒が変化したこと



生徒の中で、モノづくりについての理解を深めることができた。例えば、作成したクランク機構をモーターを使い動かすために、どのように動力を伝えるかなどの視点が生まれた。



校内だけではなくZOOM等で様々な人と触れ合えることで、生徒が生き生きとしていた。



本校は、農業機械が古く全体的に手作業による実習が多くあるため、農家の子どもたちは家の作業との違いでやる気を失っていましたが、父とは違う視点で農業の自動化を目指して、それも自作できるかもと感じたことは、実体験として楽しい記憶になったと感じます。

今回の学習を通じて、生徒に身についたと考えられるスキル



他人の意見やアイデアと、自分の考えを組み合わせたり、様々な視点で、物事を見る習慣が身についたように感じます。果物の人エイクラ化が上手くいったので、生徒が好きな紅茶でも挑戦したりしました。アレンジする力も高まりました。



初めにEV3を見せたときは、恐る恐る触っていた生徒も、授業が進むにつれて、色々といじってみようという意欲が現れてきました。また、間違っではいけないと慎重だった生徒も、プログラムを試しに入力し、試してみて、ダメなら改良するといった挑戦する姿勢がみられる生徒もいました。

■ EdTechツールを活用した児童生徒のコメント感想等

今回の学習を通じて、自分が得られたことや、自分の中で変化したこと



普段の生活では気づけないことでも、今回の学習を通して身近な課題や社会問題に気がつくことができ、積極的に行動しようと思った。



今回の学習で、普段何気なく聞いている複数の授業と授業の結びつきに気がつくことができた。



作品の完成イメージにより近づくために、専門家の方のアドバイスを参考にしながら様々なプログラミングを試行錯誤し、よい作品を作り上げることができた。今後、自分が学んでいる林業や農業の場面でこうした作品だけでなく、経験も生かしていきたい。

今回の学習を通じて、自分に身についたと考えられるスキル



ただ物を作るだけでなく、そこから工夫し更に利便性を向上させる力とその工夫をするために何が必要で何をしなければならないのか考える思考力が身についた。



EV3のプログラミングを通し、様々な教科の視点から多角的に物事を見つめる力が身についたように感じる。また、相手に説明する能力も身についたように思う。

導入・運用の課題とその改善策

◆対面での授業が必要

コロナ感染拡大の影響で学校訪問が全く出来なかった。実機の作成や初回のPCセットアップなどは遠隔だけでは厳しい面があり、ハイブリッド形式で行うことが重要。eラーニングは効果的だった。

◆学校間の情報共有を活性化するとともに見える化が重要

各学校の持っている知見（ラズベリーパイに触れる、scratchが出来る、溶接が出来るなど）を可視化することで、生徒同士の教え合いを促進し、生徒たちで自走できる学習システムを作る。

◆PCの数とネット環境が不十分

国のGIGAスクール構想などで1人1台端末はかなり整備が進んでおり、学校現場が教育委員会と連携しハード整備ができるよう、学校側へ助言やアドバイスを行うことが必要。

◆教員数の問題（新たなチャレンジをしたいが教員数が十分でなく業務量が限界）

教員の業務負担を軽減することは重要である。e-learningや外部人材の活用を上手く組み合わせ、プログラム運営することが重要である。

◆年度末になると、行事が増えるため、時間調整が難しくなる

学校の年間スケジュールを把握し、4月の段階で学校側への働きかけが必要。
委託事業や補助金を活用する場合は、それまでに採択が決まっていることが理想。

◆学習指導要領との関わりの明確化できれば導入校も増える

導入事業者が学習指導要領との紐づけ等を丁寧に説明し、教員の理解を得る努力が必要。

■ 会社概要



●お問い合わせ先

法人名	株式会社 s t e A m		
本店所在地	〒1070062 東京都港区南青山2丁目27番28号 グラン青山1101		
代表者氏名	中島さち子	担当	東丸慎太郎
電話番号	080-6394-5728	E-mail	info@steam21.com

●会社の財務情報等について

売上（前年度）	68,812,789
売上（前々年度）	24,404,128
売上（前々々年度）	20,839,065
貸借対照表（B/S）資産の部の 資産合計（単位：円）	29,855,387
貸借対照表（B/S）純資産の部の 純資産合計（単位：円）	10,789,479
貸借対照表（B/S）負債の部の 負債合計（単位：円）	19,065,908

■ EdTech導入補助金2021活用による成果の分析と考察

2021年度「未来の地球学校」探究発表ライブとして今年度、全国、世界の約40箇所を超える学校・企業・団体等の皆様と取り組んだ探究活動の発表の場を企画。他校や他地域の取組みを共有し、参加者同士が刺激し合う、非常に有意義な場となった。EdTech導入補助金を活用した全国の学校が、大人顔負けのロボットを作成したり、プログラミングを活用した地域課題の解決策を提案したり、素晴らしい発表が盛りだくさんであった。EdTech補助金の対象校に限らず、より多くの多様な探究を実践する皆さんとの情報発信の場を設けることが重要であり、更なるおもしろい探究に繋がる。ここから、新たなコラボや探究のヒントが生まれていく。

●開催日時
2022年2月6日（日）、2月11日（金）

- 参加校/発表テーマ
- 【旭川農業高校】農作業負担軽減の農業機械／低コスト農業用アシストカート
 - 【倶知安農業高校】農作業に関する機械の開発（田植え・運搬機・牛監視システム）
 - 【加藤学園暁秀初等学校】ゲーム&アニメーションクリエイターになろうプロジェクト（仮）
 - 【松原第三】政治・国際・観光の分野で未来を考えよう！！
 - 【関西学院千里国際高等部】p5.jsで世界とつながる「メディアアート・プログラミング」
 - 【トキワ松学園高等学校】5を活用したプログラミング学習
 - 【王寺工業】心と身体を守るペットロボットの提案！
 - 【吉野高校】害獣による食害防御ロボット
 - 【徳島商業高校】p5を活用したプログラミング学習
 - 【伊勢崎興陽】ピクルス開発を通じた地域おこし！
 - 【玉川学園高等部】音の視覚化（ハンドベルの演奏を通じて）
 - 【葛飾ろう学校】Ontennaとのコラボ活動！
 - 【山本日本語学校(カンボジア)】「見て！魅て！カンボジア」
 - 【あすたむらんど】STEAMであそぼう！p5を使った作品作り！
 - 【EMANON】p5を活用したプログラミング学習
 - 【川口高校】p5を活用したウエイトリフティングの人口増加プロジェクト！
 - 【宮古特別支援学校】★文字×Springin'★
 - 【八重山特別支援学校】★文字×Springin'★
 - 【鬼首小学校】EV3レゴマインドストームを使ったPlayful Roboticsプログラム
 - 【女川小学校】EV3レゴマインドストームを使ったPlayful Roboticsプログラム
 - 【ドルトン東京学園】電Proラボ×メディアアート！with未来の地球学校
 - 【糸貫中学校】アートで体験を生み出す！
 - 【大分宇佐高校】p5を活用した宇佐地域のPR！！～宇佐神宮のマップづくり～
 - 【沖縄水産高校】「Playful Robotics」プログラムを活かした水中ロボット！
 - 【大分舞鶴】EV3レゴマインドストームを使ったPlayful Roboticsプログラム
 - 【北部農林高校】沖縄の特産物が口の中で広がる新食感スイーツ～人ロイクラ製造技術の活用～
 - 【新渡戸文化学園子ども園】★文字×Springin'★
 - 【認定こども園 さくら】子どもたちの日常×プログラミングの自由！な創造のカタチ
 - 【姫恋高等学校】万座の魅力をご紹介します！

